

KiKiの広場

2015年 1月 6日

cafe NO.51
KiKi

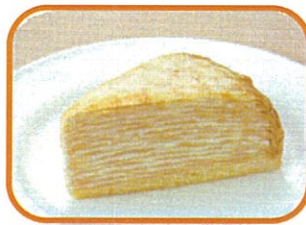


あけましておめでとうございます！

大晦日の雷、すごかったですね。お正月も小雪が舞い、少々荒れ気味の年明けとなりました。今年の干支は、未（ひつじ）。優しく穏やかなイメージですが、未年生まれには、勝海舟や福沢諭吉、そして2003年に誕生した鉄腕アトムがいるそうです。群れをなす羊は、家族の安泰を示しつつまでも平和に暮らすことを意味すること。アトムのように地球の平和を願いながら、羊のように家族や仲間を大切に、今年もいっぱい笑える年になるといいですね。みなさま、本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

1月の予定

13日(火)	休館日
毎日曜日	定休日



「今月のケーキ」・・・「ミルクレーフ」350円

1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナバージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレーフです。



今日のお気に入り・・・「冬の絵本」

～「ゆき」「おしくらまんじゅう」「おもちのきもち」「ハリーのセーター」「はなをくんくん」「ねずみくんとゆきだるま」など～



ゆき

冬になると読みたくなる「ゆき」は、「よあけ」の作者シュルヴィッツの本です。表紙のゆきの文字の上にも雪が積もっていて、空から雪が降ってくる様子がとても美しい絵本です。「おしくらまんじゅう」は、かがくいひろしさんの魅力がいっぱい詰まったユーモアたっぷりの本です。紅白のおまんじゅうが、こんにゃくやなつとうなどを間にはさんで、おしくらまんじゅうをするという発想もすごいですが、それぞれのキャラクターの表情がとっても楽しくて、ほっこりほのぼの笑えて肩の力が抜けていく絵本です。



今月の本棚・・・「羊が出てくる絵本」

～「きぼのあるひつじ」「メリーさんのひつじ」「まいごになった子ひつじ」「しいたがいやのひつじ」などなど～



羊がオオカミに食べられない為に自分の歯を折り、他のけもの歯をアラビアのりでつけるという「きぼのあるひつじ」。だんだん性格も食べるものも変わっていく羊たち。30年以上前に描かれたこの絵本、面白いだけでなく、最後のページを見てう～んと考えさせられるお話です。「メリーさんのひつじ」は、誰もが聴いたことがある歌ではないでしょうか。マザーグースの1つかとっていましたが

実はメリーさんは200年以上前に実在した人物で、飼っていた子羊との本当のお話からできたものだそうです。メリーさんと子羊との素朴なやり取りが、とっても可愛らしい絵本です。



ほっとフレイク

子ども将棋教室で年末のお楽しみ会があり、終了後子どもから年配の方まで10数名のみなさんが、KiKiに來られました。和気あいあいとお話されていましたが、そのうち小学校低学年の女の子が持っていた「どうぶつしょうぎ」の対戦が始まり・・・。一戦交えるのは、県で1・2位を争う名人のTさんと高校の県代表のNさん。さすが勝負師の二人、たとえ駒の数が少ない幼児用の将棋でも、やる時は真剣です。周りのみなさんもかわいい将棋盤での対戦を見守られる中、「あのヒヨコが」「きりんが」という言葉が飛び交い、一生懸命考えながら打っておられる姿とのギャップに、思わず笑ってしまいました。

1年間、みなさんがどれだけ真摯に将棋に取り組み、そして楽しんでこられたか、KiKiでのお話を聞くだけで、私たちにも伝わってきました。今年も、みなさんの将棋生活が充実したものになるよう、また子ども将棋教室のますますの発展をお祈りしています。

